

「業者持ち込みPC¹の仕様と制限について【Windows10版】」

要員が甲（発注者＝JICA）にて業務を行うに当たって、パソコン（PC）を持ち込む必要がある場合、必ず事前に甲に相談の上、許可を取る必要がありますので留意ください。

なお、持ち込みPCは原則以下1. の仕様を満たす必要があります。また、以下2. の制限事項に留意願います。

本書は見直しを行う可能性がありますので、最新のものを確認して下さい。

1. 仕様

(1). OS の条件

JICAの執務用ネットワークに接続するにはWindows ドメインへの参加が必須となります。持ち込みPCのOS は下記とし、それ以外のOSは利用不可能となります。

ご用意していただくOSライセンス：**Windows11 Professional (64bit) OS**

実際にご利用いただくOS：Windows11 Enterprise (64bit) OS

(※1、※2、※3、※4、※5、※6)

※1 ハードウェアについては下記に記載されたハードウェア要件を満たすようお願いします。

[Windows11の要件とシステム要件 \(Microsoftサイト\)](#)²

[Credential Guard に関する要件 \(Microsoftサイト\)](#)³

※2 Windows11のバージョン (Feature Update) はJICA内で利用する標準PCと同じバージョンを適用するようお願いいたします。2025年1月時点では「**23H2**」が利用されております。異なるバージョンでの利用は動作保証されません。利用者側の責任のもとご利用ください。

※3 適用するサービスチャネルはSACモデルとなります。LTSCモデルは動作保証されません。

※4 Professionalエディションをご用意いただき、「持ち込みPCドメイン参加マニュアル」に記載の手順を実施することでEnterpriseエディションに昇格します。そのため、ご用意いただくライセンスと実際に利用するOSではエディションが異なります。

※5 Enterpriseエディションを用意してしまった場合でも技術的には問題ありません（実施いただく手順も変わりません。）ただし、Professionalエディションよりも高額となりますの

¹ 受託事業者がJICA執務室内で使用するPCのうちJICAの執務用ネットワークに接続するものを指しており、JICAの執務用ネットワークに接続しないPCは本資料の適用範囲外。

² <https://www.microsoft.com/ja-jp/windows/windows-10-specifications>

³ [https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/mt483740\(v=vs.85\).aspx](https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/mt483740(v=vs.85).aspx)

で、コストの観点からEnterpriseエディションをご用意していただくことは推奨しません。

(2). セキュリティの条件

① PCの管理者権限を持つユーザーアカウントでのJICAの執務用ネットワークへの接続は禁止です。また、管理者権限を持つユーザーアカウントには必ず英字大文字、英字小文字及び数字を含む8桁以上のパスワードを設定し、持込者の責任にて管理してください。

※パスワードの紛失やロックはJICA側でのサポートはできません。

① ウィルス対策ソフトは事前に購入し、必ずウィルスチェックプログラムを常駐させ、常に最新の状態を保ってください。

【推奨するウィルス対策ソフトの製品について】

JICAは、全組織的にMicrosoft Defender for Endpoint (旧: Microsoft Defender ATP)へ切り替えを行ったため、ウィルス対策ソフトを別途導入する必要はなく、持ち込みPCでもWindows標準であるMicrosoft Defender for Endpointの使用を認めます。ただし、現時点ではJICAの管理・制御外で使用するものとします。

【利用を避けたい製品について】

推奨製品以外はJICA ネットワークでご利用の際、不具合が発生する恐れがあります。特に、以下製品についてはJICA ネットワーク内でパターン更新が行えない、動作が安定しない等の不具合が確認できていますので、特に利用を避けてください。

- ・トレンドマイクロ ウィルスバスター シリーズ
- ・Symantec Endpoint Protection シリーズ

(3). ソフトウェアの条件

持ち込みPCにインストールするソフトウェアの条件は以下の通りです。

- ・JICAが執務参考資料においてインストールを認めていないソフトウェア⁴については、インストールは行わないこと
- ・Microsoft Storeからアプリのインストールを行わないこと
- ・Officeソフトは、JICAが保有しているMicrosoft E5ライセンスに含まれる「Microsoft 365 for Enterprise」を提供します。インストール方法は「【持込機器】設置申請」を受領後に提供する「持ち込みPCドメイン参加マニュアル」を参照ください。

2. 制限事項

JICAの執務用ネットワークに接続するにはWindows ドメインへの参加が必須となり、以下の制

⁴ 情報漏えいを引き起こす可能性があるためJICA ネットワーク上での使用を禁止しているソフトウェア。「VPN アプリケーション」「P2P 技術を使用したファイル共有アプリケーション」「ファイル転送サービスのアプリケーション (例: DropBox アプリ、Google Drive アプリ等)」が対象です。

限事項が適用されます。なお、接続に際しては情報システム部ヘルプデスクへの申請が必要になります。

- (1) ファイルの書込み/削除は、デスクトップ及びマイドキュメントのみ可となります。
- (2) ソフトウェアは「Program Files」または「Program Files (x86)」フォルダ下ないと、起動できません。
- (3) Windows Messenger は、起動できません。
- (4) Microsoft からのセキュリティパッチは、Intune⁵を利用し定期的に自動でインストールされます。
※「1.仕様」を満たす PC のみ、JICA が提供する Intune ポータルを利用することが可能です。
- (5) 「共有ドキュメント」は、表示されなくなります。
- (6) パソコンを使用する際は、JICA から発行される ID とパスワードを利用してログオンを行ってください（ID を持っていない場合は、担当部署のシステム担当者へ依頼し、ID と初期パスワードを取得してください。）
- (7) パソコンで操作された情報は、ログ情報として記録されます。
※記録用ソフトウェア（製品名「MOTEX 製 LanScope」）がインストールされます。取得情報は、JICA においてセキュリティ監視以外の目的には使用しません。
- (8) PC 本体の MAC アドレス以外を申請することはできません。
※ドッキングステーションや外付け LAN アダプタの MAC アドレスでの接続はセキュリティ上、許可できません。持ち込み PC 本体の有線 LAN ポートをご利用ください。
- (9) DVD メディア等への書き込みは制限しています。

3. 持ち込みPCの設置申請

利用を開始する(JICA情報通信網への接続する)5営業日前までに「【持込機器】設置申請」を申請してください。申請受領後にヘルプデスクから提供される「持ち込みPCドメイン参加マニュアル」に従ってPCをセットアップしてください。

([持込パソコン・プリンタの利用案内と申請方法](#)の「1-2. 申請方法と期限」参照)

4. 長期未接続パソコンの対処について

長期間ネットワークに接続されていない持ち込みPCは、ネットワーク接続を強制遮断します。

※継続して利用する場合は、改めて申請が必要となります。

⁵ Microsoft Intune、Microsoft 社が提供するインターネットを経由して IT リソースを統合管理するサービス。

5. ヘルプデスクのサポート範囲

ヘルプデスクが持ち込みPCに対し行う作業はJICA情報通信網への接続と管理ツールのインストールのみです。

上記以外のJICAで標準的に使用しているソフトウェアのインストールや操作方法、PC自体に発生した不具合等は、サポート対象外となります。

※ネットワークに関わるトラブルである、と切り分けができましたら本部ヘルプデスクにお問い合わせください。

6. 持ち込みPCの撤去について

持ち込みPCの撤去を行う場合は、必ず事前に各部情報システム担当者に撤去の旨を伝え、所属先から撤去申請を提出するよう、お願い致します。

([持込パソコン・プリンタの利用案内と申請方法](#)の「3. 持込パソコン撤去」参照)

機器の修理等の正当な理由があり、Windowsドメインへの参加を解除したうえで機構外に持ち出す場合でも一度撤去申請を提出する必要があります。また、再度Windowsドメインへの参加を行う場合は、持ち込みPC設置申請を再び提出していただく必要があります。

以上